

主要産地における令和3年産水稻の生育状況等について 第4報 (6月18日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和3年6月18日)

道府県	生育状況等		(参考)
	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋)	技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)	
北海道	区分	平年に対する遅速等	
	(移植・初期生育)	<p>【生育状況(6月1日現在)】</p> <p>(全道) 移植は平年並に終了した。移植後の苗の活着は並。(北海道農政部 6月7日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、移植作業も平年並に終了した。(空知総合振興局 6月7日付)</p> <p>(石狩) 移植作業は平年並。生育は平年並(石狩振興局 6月7日付)</p> <p>(後志) 遅速は早1日。(後志総合振興局 6月7日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月7日付)</p> <p>(日高) 生育は平年並である。移植作業は平年並で進んだ。(日高総合振興局 6月7日付)</p> <p>(渡島) 移植作業は平年並に行われ、苗の活着は順調である。(渡島総合振興局 6月7日付)</p> <p>(檜山) 移植作業は概ね平年並、生育は平年並。(檜山振興局 6月7日付)</p> <p>(上川) 生育及び農作業は、平年並に進んでいる。(上川総合振興局 6月7日付)</p> <p>(留萌) 生育は、平年並に進んでいる。(留萌振興局 6月7日付)</p> <p>(オホーツク) 移植作業は平年並に終了した。生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>
青森	区分	平年に対する遅速等	
	(生育)	<p>【6月10日現在】</p> <p>・「つがるロマン」は草丈が31.7cmで平年より1.1cm長く、株当たりの茎数は4.5本で2.8本少なく、葉齢は6.0葉で0.1葉多かった。</p> <p>・「青天の霹靂」は草丈が32.3cmで2.0cm短く、株当たりの茎数は5.0本で2.6本少なく、葉齢は5.4葉で0.2葉少なかった。</p> <p>・「まっしぐら」は草丈が38.0cmで2.6cm長く、株当たりの茎数は5.4本で2.6本少なく、葉齢は5.5葉で0.2葉少なかった。</p> <p>(地独) 青森県産米技術センター農林総合研究所 6月15日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
岩手	区分	平年に対する遅速等	
	(生育)	<p>【6月15日調査】</p> <p>・内陸北部で5月下旬の低温少照による活着遅延がみられたものの、活着後の6月第1旬以降は気温が高く日照も多かったことから、各地域とも順調に生育している。(岩手県 6月17日付)</p> <p>・北上(農業研究センター) 「ひとめぼれ」「あきたこまち」「銀河のしずく」の草丈は平年並～やや長く、茎数は平年を上回り、葉齢は平年をやや上回っている。</p> <p>・軽米(県北農業研究所) 「いわてっこ」の草丈、茎数及び葉齢は、いずれも平年並～やや下回っている。</p> <p>(岩手県農業研究センター生産基盤部 6月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
宮城	区分	平年に対する遅速等	
	(生育)	<p>【6月10日現在】</p> <p>・田植後の天候は安定しており、生育は順調で概ね平年並に経過している。(宮城県 6月11日付)</p> <p>【6月10日現在】</p> <p>(大河原) 田植以降の高温により、生育は概ね平年並。(大河原農業改良普及センター 6月11日付)</p> <p>(大崎) 草丈は平年よりやや短め、茎数・葉数・葉色は平年を上回っているが、生育回復の遅れているほ場もある。(大崎農業改良普及センター 6月15日付)</p> <p>(美里) 生育は概ね順調に推移している。(宮城県美里農業改良普及センター 6月18日付)</p> <p>(栗原) 「ひとめぼれ」では草丈は平年並、茎数及び葉数は平年と比較して少なくなっているが、生育は概ね順調。(宮城県栗原農業改良普及センター 6月14日付)</p> <p>(気仙沼) 草丈が概ね平年並、m当たり茎数が植付本数の多かった本吉では多く、志津川では概ね平年並となっている。(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月14日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
秋田	区分	平年に対する遅速等	
	(生育)	<p>(平鹿) (6月10日調査) (あきたこまち11か所) では、草丈24.8cm(平年比107%)、茎数102本/m<sup>2</sup>(同比90%)、葉数5.6葉(同差±0.3葉)(6月11日付)</p> <p>(由利) (6月10日調査) (3品種・移植8か所平均) によると、草丈は29.0cmで平年より長く(平年比107%)、m当たり茎数は190本で平年より少なく(平年比93%)、葉数は6.4葉(平年+0.1葉)。(6月11日付)</p> <p>(秋田) (6月10日調査) 「あきたこまち」の生育は草丈が25.7cm(平年比99%)、茎数が108本/m<sup>2</sup>(平年比64%)、葉数が6.2葉(平年比-0.3葉)。(6月11日付)</p> <p>(山本) (6月10日調査) 草丈が26.0cm(平年比100%)、茎数が114本/m<sup>2</sup>(平年比74%)、葉数が6.2葉(平年±0.0) 5月後半の日照が少なかったため、茎数が平年より少なくなっている。(6月11日付)</p> <p>(鹿角) (6月10日調査) 草丈26.6cm(平年比101%) m当たり茎数は148本(平年比77%) 葉数は6.0葉(平年差-0.3) (6月11日付)</p> <p>(雄勝) 田植後は気温が高く推移し活着は順調。平年よりも草丈が長く、葉数もやや進んでいる傾向。(6月11日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
山形	区分	平年に対する遅速等	
	(生育)	<p>【県平垣部の「雪若丸」の生育状況 6月10日現在】</p> <p>・指標値に比べ草丈・葉数・葉色は並み、茎数は少なくなっている。ほ場ごとに生育のバラツキが大きくなっている。(山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部ほか 6月10日付)</p> <p>【県平垣部の「はえぬき」の生育状況 6月10日現在】</p> <p>・生育調査結果を平均した値は、草丈、茎数、葉数、葉色のいずれも平年並みとなっているが、ほ場間の生育量のバラツキが大きくなっている。(山形おいしき極めろ!米づくりプロジェクト本部 6月10日付)</p> <p>(西村山)</p> <p>・(6月10日調査) 生育は概ね平年並だが、移植時期の遅れやワキの発生により圃場間で生育にバラツキがみられる。(西村山農業技術普及課 6月15日付)</p> <p>(酒田・飽海)</p> <p>・(6月10日調査) いずれの圃場でも茎数が平年、指標より少ないことが共通している。概ね、草丈は平年並、葉数は平年並～やや進んでいる。(酒田農業技術普及課 6月14日付)</p> <p>(殿上)</p> <p>・(6月10日調査) 初期の分けつは順調に発生しているが、圃場により生育の進みに差がある。(殿上総合支庁農業技術普及課 6月15日付)</p> <p>(東南産糧)</p> <p>・6月10日現在のイネの生育は、草丈平年並～長く、茎数は平年並～少なく、葉数は平年並～やや多い状況。圃場により生育にバラツキがみられ、茎数確保が遅れている圃場がみられる。(産糧農業技術普及課 6月14日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
福島	区分	平年に対する遅速等	
	(生育)	<p>【6月1日現在】</p> <p>・農業総合センターの生育調査では、草丈は本部(郡山市)が長く、会津地域(会津坂下町)が短く、浜地域(相馬市)が平年並から長くなっている。茎数は、各地域とも少なくなっている。主産米数からみた生育は、各調査場所ともに平年並からやや遅くなっている。</p> <p>(福島県 6月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
茨城	区分	平年に対する遅速等	
	(生育)	<p>【水戸】(6月9日現在 対平年遅速) (茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月17日付)</p> <p>(4月30日移植) 「あきたこまち」1日遅い、「コシヒカリ」平年並、「ふくまるS」1日早い。(5月10日移植) 「コシヒカリ」2日遅い。</p> <p>(龍ヶ崎) (6月7日現在 対平年遅速) (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月16日付)</p> <p>(4月27日移植) 「あきたこまち」1日遅い、「ふくまるS」3日遅い、「コシヒカリ」2日遅い。(5月7日移植) 「コシヒカリ」平年並。</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か高く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>・ニカメイガ、絹糸枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東) (農林水産省 6月9日付)</p>

	生育状況等		
栃 木	<p>【早稲栽培6月8日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生育は、ほぼ前年並みであるが、地域によって差が大きい。</li> </ul> <p>(栃木県 6月10日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量は前年並か高く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニカメイガ、繭葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「なすひかり」及び「とちぎの星」が増加傾向にある。</li> </ul>
千 葉	<p>【6月15日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月第1～3半旬の気温は高く日照時間も多く推移し、生育は回復している。</li> <li>「ふさおとめ」「ふさこがね」の幼穂形成期は前年並に迎えている。</li> <li>「コンヒカリ」「粒すけ」の幼穂形成期は6月21日頃かとなる見込み。</li> <li>全般的に茎数は前年並、草丈はやや長く、葉色は前年並に推移。</li> </ul> <p>&lt;生育進度(前年比)&gt;</p> <p>「ふさおとめ(4月20日播)」並、「ふさこがね(4月20日播)」並、「コンヒカリ(4月20日播)」並、「コンヒカリ(5月1日播)」並、「粒すけ(4月20日播)」並。</p> <p>(千葉県 6月17日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量は前年並か高く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。</li> </ul>
新 潟	<p>(岩 船) (6月15日現在) 分けつが発生旺盛で茎数が増加している。(村上農業普及指導センター 6月15日付)</p> <p>(長 岡) (6月10日現在) 6月5日頃まで生育は停滞ぎみであったが、その後の高温多照により生育は回復に転じている。(長岡農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(魚 沼) (6月10日現在) (指標値比較) 草丈：長い 茎数：やや多 葉数：並 葉色：並。高温・多照により生育は回復し、分けつの発生がみられる。(魚沼農業普及指導センター 6月11日付)</p> <p>(柏 崎) (6月10日現在) 「コンヒカリ」「こしいぶき」ともに分けつの発生が少ない。中干しの開始時期や、ワキ・雑草の発生状況により、生育差が見られる。(柏崎農業普及指導センター 6月18日付)</p> <p>【6月10日現在 県内全体の生育状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンヒカリ 指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」。地域差、ほ場差が大きくなっている。</li> <li>新之助 指標値に比べ、草丈は「並」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」、葉色は「淡い」。(新潟県 6月11日付)</li> </ul> <p>【6月10日現在】</p> <p>(新発田) 好天が続き茎数が増加している。(新発田普及指導センター 6月11日付)</p> <p>(新 潟) 6月に入り好天が続き、分けつの発生は順調となり茎数は増加。しかし田植え時期等により生育の差はやや大きい。「こしいぶき」は「コンヒカリ」に比べて生育は早く生育量も大きい。「新之助」はコンヒカリと同様の傾向である。(新潟農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(三 条) 6月上旬は前年並みの気温、日照により茎数の増加が進み「コンヒカリ」は連休田植えでは中干しの適期となっている。連休後田植えでは、ほ場間の差が大きい。「こしいぶき」は平均では茎数は少なめだが、ほ場間差が大きい。(三条農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(南魚沼) 草丈、生育の進みは並で、分けつの発生はほ場によって差がある。(南魚沼農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(十日町) 草丈は「並」、茎数は「やや少」、葉数の進みは「並」、葉色は「並」となっている。6月に入ってから好天により分けつが旺盛となり、茎数は急増している。田植えが5月15日頃までに行われたほ場では、茎数「多」の場合も見られる。(十日町農業普及指導センターほか 6月10日付)</p> <p>(上 越) ワキや強風・凍等の影響がみられたが、「コンヒカリ」の生育は回復傾向。葉数や葉色は指標値並。「こしいぶき」は、草丈は短く、茎数は少なく、葉数や葉色は指標値並の生育。(上越農業普及指導センター6月10日付)</p> <p>(糸魚川) 調査ほ場の平均では草丈は並、茎数は多、葉数はやや多、葉色はやや濃という生育状況。場所や移植時期による生育量のほ場間差がある。特に5月中旬田植え以降の生育は、移植後の少日照の影響が残り生育はやや遅れ気味だが、5月末時点より指標値との生育差は小さくなっている。(糸魚川農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(佐 渡) (6月9日現在) 「コンヒカリ」の茎数は「並」。ほ場間差が大きく一部で茎数過剰。(佐渡農業普及指導センター 6月10日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量、日照時間は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コンヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」、「つきあかり」及び「みずほの輝」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生)の作付拡大を推奨している。</li> </ul>
富 山	<p>【本田での生育状況】 (6月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンヒカリ 前年に比べて、草丈はやや短く、茎数はやや少なく、葉色は並み、葉齢は遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は前年並みとなっている。</li> <li>てんたく 前年に比べて、草丈はやや短く、茎数はやや多く、葉色は並み、葉齢は遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は並み、茎数は多くなっている。葉齢と品種特性から予測すると、幼穂形成期は、6月28日頃と見込まれる。</li> <li>てんこもり 前年に比べて、草丈は短く、茎数は少なく、葉色は並み、葉齢はやや遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、茎数はやや少なく、葉色は前年並みとなっている。</li> <li>富富富 近年に比べて、草丈は短く、茎数は少なく、葉色は並み、葉齢はかなり遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、茎数、葉色は近年並みとなっている。(富山県 6月15日付)</li> </ul> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量、日照時間は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」を中心とする品種構成となっているもの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」及び「富富富」が増加傾向にある。</li> </ul>
石 川	<p>【5月28日調査】</p> <p>(兼松農圃)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンヒカリは前年に比べ3日程度遅く、前年と比べ4日程度遅い。</li> </ul> <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆめみづほは前年と比べ2日程度遅く、前年より2日程度遅い。</li> <li>ひゃくまん穀は近年と比べ2日程度遅く、前年と比べ3日程度遅い。</li> </ul> <p>(石川県農林総合研究センター 5月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量、日照時間は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひゃくまん穀」が増加傾向にある。</li> </ul>
福 井	<p>【6月10日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>葉色は濃くなってきたが、茎数が少なく推移している。</li> </ul> <p>(福井県ほか 6月11日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量、日照時間は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」及び「ハナエネゼン」を中心とする品種構成である。なお新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</li> </ul>
長 野	<p>【農業試験場八重森圃場(標高349m)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移植後20日の生育は、全体的に草丈は前年並で、主稈葉数がやや遅れている。茎数は「コンヒカリ」でやや少ない。</li> <li>【農業試験場原村試験地(標高1,017m)】</li> <li>移植後20日の生育は、いずれの品種も主稈葉数はやや前進、草丈は前年並、茎数は少ない傾向である。(長野県農業試験場 6月16日付)</li> </ul> <p>(生育)</p> <p>【伊那米総合試験地(伊那市美笹)】 (6月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田植え後30日の生育状況は、前年に比べて「コンヒカリ」は、草丈は概ね前年並(98%)で、茎数はやや多く(104%)になっている。「ひとごち」は草丈短く、茎数も少ない傾向にあるが、他の品種は草丈はやや短いものの茎数は前年を上回っている。(上伊那農業農村支援センター 6月15日付)</li> </ul> <p>【安曇野市豊科 標高550m 5月15日播(稲苗)「コンヒカリ」「あきたこまち」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月4日現在、水稲の生育進度は、概ね前年並と思われる。(松本農業農村支援センター 6月7日付)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ前年並の見込み。降水量は前年並か高く、日照時間は前年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多い見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風ざやか」の導入を推進している。</li> </ul>
滋 賀	<p>【5月31日時点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月中旬～下旬の最高気温が低く、日照時間も少なく推移し、5月中旬以降は初期の分けつが少なく、生育は前年より遅れている。</li> <li>草丈は、「みずかがみ」、「コンヒカリ」ともに前年より長かった。</li> <li>茎数は、両品種ともに前年よりかなり少なかった。</li> <li>移植後の日平均気温は前年並みに経過したが、5月第4～5半旬にかけて降雨が多く、寡照に経過したことから初期生育は緩慢で、分けつは極めて少なかった。</li> </ul> <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月11日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は前年並か低い見込み。降水量、日照時間は、ほぼ前年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は前年並か高い見込み。降水量は前年並か多い見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トビイロウンカ、ニカメイガ、繭葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コンヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</li> </ul>

	生育状況等		
兵庫	<p>【5月27日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(県北) <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</li> </ul> </li> <li>(生育) <ul style="list-style-type: none"> <li>(県南) <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗の生育は順調である。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>(兵庫県 6月7日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並か低い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トビイロウンカ、ナカメイガ、繭葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
岡山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中北部地帯の田植時期、生育概況は概ね平年並である。</li> </ul> <p>(岡山県 5月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コンヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</li> </ul>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か低い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イネミズゾウムシ、繭葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(四国) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「コンヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</li> </ul>
高知	<p>【5月24日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、全体的に茎数は少なく、生育がやや遅れている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>(生育) <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国そだち <ul style="list-style-type: none"> <li>平年に比べ、草丈はやや高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。</li> </ul> </li> <li>・コンヒカリ(4月6日植え) <ul style="list-style-type: none"> <li>平年に比べ、草丈は高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。</li> </ul> </li> <li>・よさこい美人 <ul style="list-style-type: none"> <li>前年に比べ、草丈は高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。</li> </ul> </li> <li>・コンヒカリ(4月14日植え) <ul style="list-style-type: none"> <li>平年に比べ、草丈は高く、茎数が少ないものの、生育進度(葉齢)は平年並みで推移している。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>(高知県農業技術センター 6月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か低い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イネミズゾウムシ、繭葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(四国) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コンヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
福岡	<p>【6月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 早生水稲(夢つくし、コンヒカリ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植え後、多雨で経過したため生育はやや軟弱徒長。昨年度多発したスクミリンゴガイの被害は少ない。</li> <li>・4月下旬植は田植え後40日頃に有効茎数が確保され、6月5日頃に中干し開始時期となる見込み。</li> </ul> </li> <li>(2) 普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平坦地の田植えは、「夢つくし」が6月上旬、「元気つくし」が6月中下旬、「ヒノヒカリ」が6月中下旬、「実りつくし」が6月中旬にピークとなる見込み。</li> </ul> </li> </ul> <p>(福岡県農業総合試験場 6月1日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「実りつくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>
熊本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コンヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</li> </ul>
宮崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】</p> <p>早期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月26日)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か低い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</li> </ul>
鹿児島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か低い見込み。 降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コンヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、早期栽培において収量水準の高い「なつぽのか」が増加傾向であり、「コンヒカリ」との価格差も小さいことから今後も移行が進むことが予想される。</li> </ul>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。  
注2：令和3年6月18日 14時時点での取り纏め。  
注3：更新箇所は赤字で表している。

引用資料:

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月7日)、  
農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月7日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月1日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月7日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月7日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月7日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月7日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月7日)、  
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月7日)、  
農作物生育状況調査の概要 令和3年6月1日現在(北海道留萌振興局 6月7日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月7日)、  
作況報告(6月10日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月10日)、  
令和3年度水稲生育定期調査結果№2(6月15日現在)(岩手県農業研究センター 6月16日)、  
令和3年度水稲の生育状況について(6月10日現在)(宮城県 6月11日)、  
令和3年度仙南稲作情報(第1号)(大河原農業改良普及センター 6月11日)、  
令和3年度美里地区の稲作情報第3号(宮城県美里農業改良普及センター 6月11日)、  
令和3年度気仙沼・南三陸稲作情報第4号(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月11日)、  
令和3年度大崎稲作情報第3号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月15日)、  
栗原の稲作通信令和3年第2号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月14日)、  
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月18日閲覧)、  
米づくり技術情報第4号(山形おいしさを極める!米づくりプロジェクト本部 6月10日)、  
雪若丸技術情報№3(山形おいしさを極める!米づくりプロジェクト本部ほか 6月10日)、  
稲作だより第7号(最上総合支庁農業技術普及課 6月14日)、  
酒田鮑海のみつ・姫・雪若丸情報第3号(酒田農業技術普及課 6月14日)、  
東南置賜米づくり情報№6(西置賜農業技術普及課 6月14日)、  
稲作だより第6号(西村山農業技術普及課 6月26日)、  
主要な農作物の生育情報令和3年度第3号(福島県農林水産部 6月8日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月17日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月16日)、  
令和3(2021)年度水稲生育診断予測事業速報№2(栃木県 6月10日)、  
水稲の生育と当面の対策第3報(千葉県 6月17日)、  
水稲の生育と今後の管理対策(第3号)(新潟県 6月11日)、  
岩船米生育速報(6月15日現在)(村上農普及指導センター 6月15日)、  
コンヒカリ生育情報第2号(魚沼農業普及指導センター 6月10日)、  
令和3年度水稲生育速報№2(新発田農業普及指導センター 6月10日)、  
稲作速報№2(新潟農業普及指導センター 6月10日)、  
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月10日)、  
南魚沼産コンヒカリ生育速報№2(6月10日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月10日)、  
十日町地域稲作生育速報(令和3年6月10日)(十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会 6月10日)、  
柏崎・刈羽地域稲作だより(共通版№4)(柏崎地域農業振興協議会 6月18日)、  
コンヒカリ・こしいぶき生育速報№2(上越農業普及指導センター 6月10日)、  
令和3年度糸魚川売れる米づくりコンヒカリ生育情報№2(糸魚川農業普及指導センター 6月10日)、  
令和3年度稲作生育速報№2(佐渡農業普及指導センター 6月10日)、  
TACS情報第4号(富山県 6月15日)、  
令和3年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月31日)、  
稲作情報№.6(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月11日)、  
令和3年作物技術普及情報第9号(松本農業農村支援センター 6月7日)、  
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和3年)(長野県農業試験場 6月16日)、  
水稲高標高試験圃の生育状況(令和3年)(長野県農業試験場 6月16日)、  
伊那米総合試験地水稲奨励品種決定ほ生育状況(上伊那農業農村支援センター 6月16日)、  
令和3年度水稲生育診断情報№1(滋賀県農業技術振興センター 6月11日)、  
令和3年度兵庫県農業気象技術情報№2(6月情報)(兵庫県 6月7日)、  
令和3年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 5月27日)、  
令和3年度における早期水稲の生育状況(5月24日時点)(高知県農業技術センター 6月4日)、  
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月1日現在)、  
令和3年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月26日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月17日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月17日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月17日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月17日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月17日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月17日広島地方気象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月17日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月17日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月17日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月25日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月25日気象庁)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月25日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日広島地方気象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月25日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月25日鹿児島地方気象台)、

令和3年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月9日)  
令和3年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月23日)